

# りんご研究所ニュース



## 【平成30年度(第39回)試験成果・情報発表会】

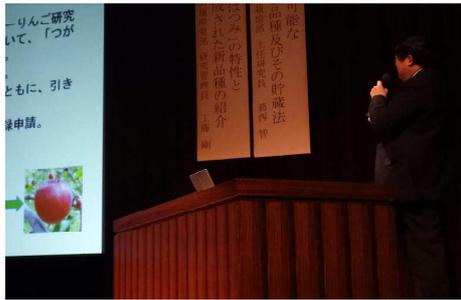
平成30年度試験成果・情報発表会を津軽会場は2月14日に平川市文化センターで、県南会場は2月20日に南部町立町民ホール「楽楽ホール」で開催しました。

津軽会場には350名、県南会場には120名の方々に来場していただきました。

### ○津軽会場

当研究所の担当者から、「無袋果で長期貯蔵可能なりんご品種及びその貯蔵法」や、「りんご新品種『紅はつみ』の特性と最近育成された新品種の紹介」、「おうとう」ジュノハート」の収穫適期の指標」、「平成30年の黒星病の発生状況と今後の対策」、「各種病害におけ

るQoI剤耐性菌の発生状況と防除対策」の5つの成果を発表しました。



また、講演終了後には、「りんご輪紋病の枝感染及び果実感染に対する各種殺菌剤の効果」や「低温発芽性を有するりんご花粉の探索」など主要な成果をポスター展示するとともに、成果発表した貯蔵方法で長期貯蔵されたりんご品種(無袋果)及び当研究所育成品種の

試食も行いました。



### ○県南会場

津軽会場で紹介した5つの成果について、当研究所の担当者から発表しました。

講演終了後には、「西洋なし品種『ジェイドスイート』の特性」などの特産果樹に関する成果を担当職員らが来場者からの質問に応じていました。また、来場していた方々には、特産果樹防除暦も配布しました。



## 【おうとう」ジュノハート」生産技術研修会】

3月13日に、県南果樹部でおうとう「ジュノハート」普及促進研究会主催の第2回生産技術研修会を開催しました。

研修では、「摘芽と摘果併用処理の効果」や「おうとう病害虫防除暦の改正点」について、担当職員から説明しました。

その後、まだ肌寒い会場において、摘芽処理の実演や定植4年目の「ジュノハート」若木の生育状況を確認しながら、活発な意見交換を行いました。



### 【平成30年度りんご病害虫マスター修了式】

2月25日に、青森県りんご協会講堂において、平成30年度りんご病害虫マスター養成事業修了式が執り行われ、43名が新しく病害虫マスターとして認定されました。新しく認定されたマスターが、それぞれの地域でご活躍することを期待しています。



＜写真提供 (公財)青森県りんご協会＞

### 【りんご黒星病防除技術研修会】

3月7日に、県「攻め

の農林水産業」推進本部主催のりんご黒星病防除技術研修会が当研究所の研修館で開催され、農協、地域県民局等60名の参加がありました。



研修会では、病虫害部の赤平研究管理員が「平成30年のりんご黒星病の発生状況と今後の対策」と「りんご病害虫防除暦の改正事項」を解説し、りんご果樹課からは「優良防除技術事例集」やリーフレット「りんご黒星病防除の重要ポイント」が紹介されました。また、翌8日には、県南果樹部研修館でも開催され、県内のりんご生産関係者間で、防除対応の確認が行われました。

### 【高品質りんご生産に向けて活動開始！】

#### ○ 新春剪定大会

1月7日に、(公財)青森県りんご協会主催の平成31年新春剪定大会が開催されました。

新春剪定大会では、同一会場で3年間実施することになっていきます。本年から新たな会場となった弘前市石川のりんご園には、約1300人(主催者発表)の生産者が集まりました。

わい性台樹では、工藤智哉培部長が講師を務め、受け持つこととなった樹の剪定について解説を交えながら行いました。



#### ○ 剪定公開講座

1月10日に当研究所の試験圃場において、青森

県りんごわい化栽培技術研究会主催の「詰め・流し剪定の公開講座」が行われ、約230人が集まりました。

昨年からはじめた「きおう」、「トキ」、「シナノゴールド」の黄色品種の剪定に続き、6人の講師がそれぞれ、「詰め」剪定、あるいは「流し」剪定で「ふじ」の幼木を用いて剪定の実演を行いました。



その後、会場を研修館に移し、栽培部の職員を助言者に技術検討会も行われました。

#### 【研究風景】 ○ 試験設計会議

3月5日と6日の2日間にかけて、平成31年度試験設計会議を行いました。

会議には、研究所職員のほか、全農青森県本部、営農対策部及び(公財)青森県りんご協会の職員、県から農林水産政策課とりんご果樹課、各地域農業普及振興室の職員が参加して、より一層生産現場にとって有用な試験研究とするための活発な議論が交わされました。

